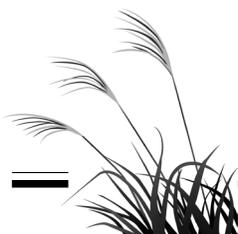


『都産健協』 会報 第26号

2012年10月1日
発行人 柳澤 信夫



ススキ

「産業保健推進センターの現状と今後」

東京産業保健推進センター
所長 野中 博



東京産業保健推進センター（産保センター）は、産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者や事業主、人事労務担当者などに対して、研修・相談・情報提供などの事業を行っており、その活動は健康づくり（THP）、有害業務による健康障害防止、過重労働による健康障害防止やメンタルヘルス対策、快適職場づくりなど多岐にわたっています。

メンタルヘルス対策支援センターの設置

近年、社員のメンタルヘルスに関する問題を抱える事業場が急増し、事業場におけるメンタルヘルス対策確立の必要性が急速に高まっています。しかし、具体的な対策に取り組んでいる事業場は3分の1程度（平成19年健康状況調査）と少なく、また、対策をとらない理由に対策の取り組み方がわからないとする事業場が4割（同調査）にも上ることなどから、事業場に対する何らかの支援の必要性が認識されるようになりました。これらの状況から、平成20年に産保センター内に、メンタルヘルス対策の進まない事業場に対する各種の支援事業を行う「メンタルヘルス対策支援センター」（支援センター）が設置されました。

支援センターでは、産業カウンセラー、臨床心理士、社会保険労務士の資格を持つ専門家（促進員）が事業場を訪問して、「心の健康づくり計画」の策定等事業場におけるメンタルヘルス対策の基本的な枠組み作りの支援を行う「訪問支援事業」、「管理職」に対する研修や「セルフケア」研修を行う「研修事業」、メンタルヘルス対策に関する相談を受ける「相談事業」などの事業を推進しています。

昨年度は事業の中心である「訪問支援事業」を554件実施しましたが、今年度は6月段階で既に268件と昨年を大幅に超える実績で推移しています。これは、労働者のメンタル不調を抱える事業場が増加していることだけでなく、メンタルヘルス対策の重要性を認識する事業場も増加しているものといえます。しかし、現在の支援件

数は都内の事業場数全体からみれば微々たるものであり、今後も支援件数を増加させていく必要があると考えています。

有害物による健康障害防止対策の徹底

最近マスコミ報道等でも大きく取り上げられた「胆管がん」の問題は、いまだその原因が明確になっていないものの、基本的には有害物（有機溶剤等）暴露による職業病であるとみられております。

この問題を受け全国の労働基準監督署が印刷工場の調査を実施した結果、有機溶剤中毒防止対策に関して何らかの問題のあった事業場が77.5%にも上ることが判明し、事業場における有機溶剤による健康障害防止対策がいまだ十分でない実態が明らかとなっています。胆管がんのような重大な健康障害を防止するためにも、今後これらの対策の再度徹底の徹底が望まれ、産保センターもできるだけこれにかかわった事業を進めていく必要があると思います。

職域（産業）保健・地域保健の連携

そして、忘れてはならないのが職域（産業）保健と地域保健の連携です。

従来産業保健と地域保健の連携は十分ではありませんでした。しかし、事業場は地域の一員であり、労働者もその地域の住民であることが多く、産業医の多くも地元の開業医です。

産業保健と地域保健の目指すところは必ずしも同じではありませんが、今後超高齢化社会を迎える日本においては、健康寿命の延伸に向けて相互に蓄積したノウハウ、情報を交換し双方が連携した総合的な健康増進対策を講じることが必要です。

その際、産業保健側の連携の中核となるのは各地区の地域産業保健センター（地産保）です。

地産保は、労働者数50人未満の事業場の労働者の健康管理等に関する相談、情報の提供その他の必要な援助を行うために設立されたもので、地域に密着した産業保

健支援を行うことがその使命でもあります。そういう意味では、産業保健スタッフ（50人以上の事業場における産業医、衛生管理者）等に対する支援を中心とする産保センターとはターゲットとするところにずれはありますが、しかし、労働者の健康確保という点で目指すところは同じであるので、今後は、地産保、産保センター、そして支援センターを加えた三者と地域保健との連携を進めていく必要があり、これらいずれにもかかわっている健康診断機関の役割も今後ますます重要になっていくものと思います。

有所見率調査結果から見た結果の推移と今後の展望

岐阜大学名誉教授、都産健協アドバイザー
牧野 茂徳

先ず、平成23年に実施した有所見率調査結果を紹介いたします。調査は平成22年4月から平成23年3月までの1年間に実施された定期健康診断有所見率を集計しました。平成23年6月、都産健協に加入する39機関へ調査票を配布し、9月20日を日目に調査票を回収しました。調査票1（性年齢別に集計）は18機関、調査票2（企業規模別に集計）は6機関、調査票3（業種別に集計）は9機関から回答がありました。解析対象人数について性年齢別調査は男性1,421,686人、女性748,307人でした。規模別調査は50人未満の男性148,963人、女性67,678人、50人以上の男性250,445人、女性101,837人でした。業種別調査は製造業の男性140,050人、女性52,801人、建設業の男性11,551人、女性2,371人、運輸業の男性88,479人、女性26,813人、商業の男性77,307人、女性87,371人、その他の業種の男性255,533人、女性153,265人でした。ここでは性年齢別調査結果の概略について述べます。解析対象者について男女とも35-39歳が最も多かったです。項目別有所見率は、男性では血中脂質検査が最も高く、次に腹囲計測、肥満度、血圧測定の順でした。女性では血中脂質検査、肥満度、腹囲計測、血圧測定の順でした。性別に比較しますと、貧血検査以外はすべて男性が女性より有意に高い。次に項目別に見ますと、所見のあった者の割合は男性、女性とも年齢が高くなるほど割合は高くなります。聴力検査（1000Hz、4000Hz）、胸部X線検査、血圧測定、血糖検査、尿検査（糖）、心電図検査の男女とも、貧血検査、尿検査（蛋白）の男性、肝機能検査、血中脂質検査、肥満度、腹囲計測の女性の有所見率は年齢が高くなるほど有所見率は高くなっています。肝機能検査、肥満度の男性、貧血検査の女性は45-49歳までは増加傾向であります。血中脂質検査の男性は50-54歳までは増加傾向、腹囲計測の男性は55-54歳までは増加傾向であります。性年齢別有所見率

の傾向はほぼ同一の結果が得られています。

次に、平成22年に実施された有所見判定の基準値調査結果を報告します。36機関へ調査票を配布し、19機関から回答がありました。血圧測定について、収縮期血圧値140以上は9、130以上は4でした。拡張期血圧値90以上は10、85以上は4でした。血中脂質検査について、中性脂肪値150以上は9、LDLコレステロール値140以上は15、HDLコレステロール40未満は13でした。血糖検査について、110以上は15、100以上は1、ヘモグロビンA1c5.5以上は3、5.9以上は14でした。治療中の者は有所見と判定している。「はい」は15、「いいえ」は3でした。随時血の場合の有所見の判定は空腹時の判定基準とは別の基準を設けている。「はい」は14、「いいえ」は5でした。空腹時の場合の食事から採血まで、何時間ほど取るようにしているか。「2時間」は1、「4時間」は1、「5時間以上」は1、「8時間」は1、「8時間以上」は2、「9時間」は2、「10時間」は8、「12時間」は2でした。血糖検査あるいはヘモグロビンA1c検査の実施割合について、血糖検査のみは「0～19.9%」が4、「20～39.9%」が10、「40～59.9%」が1、「60～79.9%」が1、「80～99.9%」が2でした。ヘモグロビンA1c検査のみは「0～19.9%」が14、「20～39.9%」が3、「40～59.9%」が1でした。血糖検査とヘモグロビンA1c検査の両方は「0～19.9%」が3、「20～39.9%」が4、「40～59.9%」が6、「60～79.9%」が4、「80～99.9%」が1でした。今後、有所見の判定基準について話し合いを持つことが重要であると考えます。

☆☆☆ 新入会員ご紹介 ☆☆☆

◎ 社団法人 衛生文化協会 城西病院

社団法人 衛生文化協会 城西病院は、昭和24年の開設以来、東京都民の皆様の健康を支えてまいりました。以来、巡回健診の健康管理部や、人間ドックのための健診センターを開設し、疾病の早期発見と生活習慣病の予防に取り組んでおります。

さらに近年は、訪問看護ステーションやリハビリセンターを開設し、平成17年には現在地に移転、新病院を設立いたしました。

この移転を機に、1階待合室には名器として知られるドイツ・ベヒシュタイン社のフルコンサートグランドピアノを設置し、毎月開催の無料コンサートもお楽しみいただいております。

私たちは、地域の皆さまから、真に「信頼される病院」になれるよう、経営理念であるC S S（Confidence 信頼、Service 奉仕、Study 研修・研鑽）を常に念頭に置

き、地域のニーズに応えられるよう変化を遂げてまいります。

そのひとつとして、在宅療養支援機能の充実を図るため、在宅医療の提供体制を拡充しており、病院の建物内だけでなく、地域の皆さまのもとに医療をお届けしています。

◎ 社団法人 浩生会スズキ病院

私ども浩生会スズキ病院は、練馬区栄町の地に昭和62年より前身の鈴木診療所を建て替え、入院施設のある地域に根ざした医療を展開してきました。

又、健診センターは、予防医学をもっと身近にと願う、院長の考えから平成4年に独立運営を開始しました。

日本は諸外国から「健診大国」といわれています。しかし40歳以上人口の中で、健康診断を毎年受診する方30%、2年～5年に一度の方50%、一生受ける予定は無い方20%というデータもあります。その受けて無い20%の方も受けやすい健診センターにするために予約に柔軟性を持たせ受診者ニーズに応えられるよう努めています。又、経年受診者の方には、病院と併設している健診施設の特長をいかせるよう積極的に2次検査対応や再検査への勧奨追跡をおこなっております。とかく利益至上主義になりやすい健診事業を、受診者が希望する内容・現在の体調などを加味し、受診される方に意味のある健診になるよう常に心掛けています。経年受診者が多いのが誇りです。

さらに、20年を超える精度の高い予防医学をより多くの方の健康管理のお手伝いが出来ればと願い、昨年より巡回健診事業へも業務を拡大もおこなっています。健診事業に係わるものとしては、より多くの人を健康増進の土俵に乗せることが使命だと思っております。

☆☆☆ 新入賛助会員ご紹介 ☆☆☆

◇ 協和メディシード株式会社

弊社のモットーは～win-winからhappy-happyへ～であり、絶対的幸福感をお客様と共有することです。

弊社取扱製品は生化学診断薬（コストパフォーマンスに優れている）、凝固関連試薬（汎用タイプ）に医療機器であります。特に、昨今、テレビや新聞でも話題になっております、蚊の針から学んで出来た世界初の植物性樹脂針「ピンニクスライト」のランセット（穿刺器具と穿刺針が一体）は、採血時の痛みが少なく安全・清潔・使い易さの面から、糖尿病患者の血糖自己採血時に役立つでしょう。

今後、弊社は国内外問わず多くの企業と連携を図り、よ

り良い製品をお客様の笑顔の為に販売して参りますので、引き続きのご指導。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

～win-winからhappy-happy-happyへ～

WB&DT

協和メディシード株式会社

◇ 株式会社メディカルトラスト

新宿からも近い渋谷区の初台駅近くに本社を置く（株）メディカルトラストは、平成13年10月に設立され、今年で12年目になる社員数63名ほどの会社です。

以前、渋谷区の病院で事務長であった佐藤典久が健診センター、内視鏡センターなどを設立し、THP、レディースドックなどのサービスを提供させていただいております。その際、大手企業側のニーズは全国区なのに対し、健診機関や産業医側の対応は地方区、つまり各自がそれぞれの地区で対応するという状況をミスマッチと捉え、その解消のためにはそれらの間にたつ仕組み（会社）が必要と考えて創業したものです。

従って、私たちの仕事は企業の労務、総務、人事部門などに対して、産業医、医療機関、健診機関などの医療関係の資源を上手につなぐことが最大の目的となります。

また、特にメンタルヘルスや休職・復職の分野には力を入れています。

具体的には、地元の健診機関などで対応できなくなった場合の産業医業務の請負、または産業医、産業保健スタッフの紹介業務を行なっています。さらに、全都道府県での過重労働者医師面接を同一用紙を利用した同一料金にて請負させていただいております。

また、皆様の機関で健診を受けた後の事後指導面接やメンタルヘルス医師面談、精神科・心療内科医による休職・復職面接も全国で対応しておりますので、クライアント企業から依頼されて困られた時は是非ご相談ください。

特に東京・大阪・名古屋には産業医をしている精神科医が駐在する面談室「社外産業保健室」が用意してあります。休職・復職などの専門家の医師が予約制で、クライアントの担当者や上司とじっくり面談した後に、従業員本人と面談して、各種意見書の作成を行っております。今後ストレスチェックを含めた健診業務を全国規模のクライアントと契約される際には、特に小規模事業場での希望者に対する医師面接をどのようにするか考えてくれと言われると思います。原則無料とはいえ、全国平均で1ヶ所2.69人/月しか医師面接ができていない地域産業保健センターを紹介するだけでは、クライアント担当者の満足は得られないと思います。

是非とも担当部長の佐藤典久までご相談いただければ幸いです。

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）会委員名簿

	機 関 名	〒	所 在 地 1（連絡先）	電 話	F A X
1	(公財) 愛世会 愛誠病院	173-8588	東京都板橋区加賀 1-3-1	03-3961-5351	03-3961-0962
2	(医社) 青鷲会 鷲谷健診センター	110-0003	東京都台東区根岸 2-19-19	03-3873-9161	03-3873-9170
3	(一財) 近藤記念医学財団 富坂診療所	112-0002	東京都文京区小石川 2-5-7	03-3814-2662	03-3811-0532
4	(医社) 潮友会 うしお病院	196-0021	東京都昭島市武蔵野 2-7-12	042-541-5423	042-546-5258
5	(財) 近畿健康管理センター東京事業部	135-0063	東京都江東区有明 3丁目5番7号 T O C有明 ウエストタワー 12階	03-5500-6777	03-5500-6778
6	(一財) 健康医学協会	102-0094	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ホテルニューオータニタワー 2F	03-3239-0015	03-5276-7080
7	(医社) 七星会 カスガメディカルクリニック	113-0033	東京都文京区本郷 4-24-8 春日タワービル 5F	03-5689-8211	03-5689-8210
8	(財) 産業保健協会	146-0095	東京都大田区多摩川 1-3-18	03-5482-0801	03-5482-0803
9	(財) 産業保健研究財団	150-0031	東京都渋谷区桜丘町 2-9 カスヤビル	03-3460-2114	03-3460-2119
10	(医財) 綜友会	169-0051	東京都新宿区西早稲田 2-20-15 高田馬場アクセス	03-3200-1540	03-3200-1558
11	(一財) 日本健康管理協会 東京支部	160-0021	東京都新宿区歌舞伎町 2-31-11 第2モナミビル 3F	03-5280-8201	03-5273-8207
12	(医社) 俊秀会 エヌ・ケイ・クリニック	120-0005	東京都足立区綾瀬 3-7-15 岩崎ビル 2F	03-3620-2034	03-3620-2446
13	(医社) 松英会	143-0027	東京都大田区中馬込 1-5-8	03-3773-6771	03-3775-5680
14	(医社) 頌栄会 上田診療所	103-0027	東京都中央区日本橋 2-1-10 柳屋ビル BF 1	03-3271-2775	03-3281-6765
15	新町クリニック健康管理センター	198-0024	東京都青梅市新町 3-53-5	0428-31-5301	0428-31-1777
16	(医社) 生光会	160-0022	東京都新宿区新宿 3-1-13 京王新宿追分ビル 7F	03-5363-3334	03-5363-3335
17	(財) 全日本労働福祉協会	142-0064	東京都品川区旗の台 6-16-11	03-3783-9411	03-3783-6598
18	中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	108-0014	東京都港区芝 5-35-2 安全衛生総合会館	03-3452-3977	03-3452-4807
19	(医社) こころとからだの元氣プラザ	102-8508	東京都千代田区飯田橋 3-6-5	03-5210-6666	03-3238-2140
20	(公財) 東京都予防医学協会	162-8402	東京都新宿区市谷砂土原町 1-2	03-3269-1143	03-3269-7562
21	(医財) 東友会 友愛クリニック	151-0063	東京都渋谷区富ヶ谷 1-36-6 斉藤ビル 4F	03-5453-1817	03-5453-1819
22	(医社) 同友会	112-0002	東京都文京区小石川 1-12-16 小石川 T Gビル	03-3816-2250	03-3818-9277
23	(医社) 日健会	136-0071	東京都江東区亀戸 6-56-15	03-3684-3971	03-3684-3979
24	(財) 日本予防医学協会	135-0001	東京都江東区毛利 1-19-10	03-3635-1153	03-3635-1027
25	(一財) 日本健康増進財団	150-0013	東京都渋谷区恵比寿 1-24-4	03-5420-8011	03-5420-8039
26	(財) パブリックヘルスリサーチセンター-附属健康増進センター	101-0041	東京都千代田区神田須田町 1-21-1 カルフル神田ビル	03-3251-3881	03-3251-3885
27	(医財) 福音医療会 神田キリスト教診療所	101-0052	東京都千代田区神田小川町 1-5-1 神田御幸ビル	03-5283-8119	03-5283-8903
28	(医社) 幸楽会 幸楽メディカルクリニック	102-0022	東京都千代田区九段南 4-7-19 くじらビル 3F	03-6272-9422	03-6272-9422
29	(医社) 青山会	273-0011	千葉県船橋市湊町 2-8-9	047-420-8630	047-420-8631
30	(医財) 南葛勤医協 芝病院健診センター	105-0004	東京都港区新橋 6-19-21	03-3431-1245	03-5776-1631
31	(医社) 朋翔会 弥生診療所	164-0013	東京都中野区弥生町 2-25-13	03-3380-2241	03-3380-2206
32	(財) 労働医学研究会	130-0022	東京都墨田区江東橋 4-30-12 大宝ビル	03-5600-5335	03-5600-5336
33	(財) 労働衛生協会	168-0072	東京都杉並区高井戸東 2-3-14	03-3331-2251	03-3331-0027
34	(独) 労働者健康福祉機構 東京労災病院	143-0013	東京都大田区大森南 4-13-21	03-3742-7301	03-3742-9082
35	(一社) 労働保健協会	173-0027	東京都板橋区南町 9番11号	03-3530-2131	03-3530-2139
36	幸生健康管理センター ファーストメディカルクリニック	103-0024	東京都中央区日本橋小舟町 15-17	03-5643-3171	03-5642-3172
37	3Sメディカルクリニック	130-0022	東京都墨田区江東橋 2-19-7	03-5624-5325	03-5624-5354
38	(医社) 相和会	252-0236	神奈川県相模原市中央区富士見 4-9-5	042-756-2666	042-759-2184
39	(社) 日本健康倶楽部 東京支部	102-0093	東京都千代田区平河町 2-16-15 北野アームス 307	03-3511-8865	03-3238-5771
40	(社) 衛生文化協会 城西病院	167-0043	東京都杉並区上荻 2-42-11	03-3390-1402	03-3390-2177
41	(医) 浩生会スズキ病院 健診センター	176-0006	東京都練馬区栄町 7-1	03-3557-3003	03-3557-4061

事務局ニュース

都産健協事務局 二階堂 靖彦

《平成 24 年度役員会、総会について》

今春、開催されました都産健協の平成 24 年度の役員会と総会につきましてご報告致します。役員会及び総会は、4 月 10 日（火）文京区民センターにて同日開催し、昨年は、東日本大震災を考慮して懇親会を開催しませんでした。が、合わせて親睦を深める懇親会も開催しました。

役員会は、柳澤会長はじめ理事、監事、両部会長、事務局を合わせ 11 名の出席を頂き、今回から副会長の早川様（労働衛生協会）が退任され、新任理事として、山口いづみ様（東京都医師会産業保健担当）、寺本明様（東京労災病院院長）が新たに加わりました。

議案は、平成 23 年度事業報告案及び収支決算案、平成 24 年度事業計画案及び収支予算案、上記の役員人事案件、新規会員 2 機関、新規賛助会員 2 機関が承認され、前回提案のありました企画部会の新設が承認されました。

総会は、役員会終了後引き続き行われ、24 機関（ほか委任状提出 13 機関）から出席をいただき、来賓に東京労働局健康課副主任地方労働衛生専門官 深澤健様、並びに東京産業保健推進センター副所長 中山篤様をお招きして開催しました。

柳澤会長の開会の辞に続き、来賓の東京労働局健康課の深澤専門官様より、メンタルヘルスセンターの開設、地域対策、一元化のポータルサイトの開設など具体的な活動を行っていくとのご挨拶を頂き、引き続き東京産業保健推進センターの中山副所長様より、今回の仕分けにより産業保健推進センターが現在 47 都道府県中 15 ヶ所まで減らすことになってしまったが、今後もメンタル対策や有所見率状況調査のアップ策などに取り組み、都産健協とも強調していくとお言葉を頂きました。

今回提議された平成 23 年度の事業報告案、収支決算報告書案及び平成 24 年度の事業計画案、収支予算案、役員・部会人事案、会員の入会、企画部会の新設などの議案については役員会で審議された方向に沿って原案どおり承認されました。

また今年度の主要事業の職域健康診断の有所見率状況調査と産業保健フォーラムへの協賛、会員機関の役職員を対象とした研修会の開催、会報誌「都産健協」の年 2 回発行を重点事項として行うことが決定いたしました。なお小規模事業場の健診受診を促進する一環として協賛している東京労働保険事務組合連合会の会員事務所を対象にした健康診断事業についても受診者拡大を図りながら継続していくことを確認しました。

全ての議事終了後、新規入会会員のご挨拶を医療法

人浩生会スズキ病院健診センター、社団法人衛生文化協会城西病院から、続いて新規入会賛助会員の協和メディシード㈱、㈱メディカルトラストから頂きました。

次に新理事に就任した東京都医師会の山口いづみ様より、共同利用施設の運営委託、特に医療情報のバックアップ体制の確保をテーマに警察や消防とも具体的な話しをしており、都産健協ともタイアップしていきたいとのご挨拶を頂きました。

最後に大坪副会長より医療を取り巻く環境が混迷する中、会員同士が情報収集し協力していくことが大事であることとご挨拶を頂き無事に閉会致しました。

2 年ぶりに開催した懇親会では会員機関同士のコミュニケーションも弾み楽しく情報交換を行い終始和やかな親睦を深める場となりました。

《巡回インフルエンザ予防接種のその後》

東京都内の保健所では過去に特例で認めた巡回インフルエンザ予防接種は離島などの僻地を除いて実施を認めないという見解で平成 24 年度から巡回実施計画書を受理しないという状況でした。

都産健協では医療機関の社会的責任から巡回インフルエンザ予防接種は必要不可欠なものとして、勤務時間に拘束されて受診したくても外部の診療施設に出向けない事業所の要望を東京都福祉保健局に説明してインフルエンザ予防接種事業が円滑に運ぶよう働きかけてきましたが、今年度に入ってから特別区保健所の担当者会議において巡回インフルエンザ予防接種を今まで通り認めるという方針が東京都福祉保健局を通じて確認されました。ただし最終的な計画書の受理は事業所を管轄する保健所所長の判断が優先されますので事前の確認が必要です。まずは実施計画をする段階で事業所を管轄する保健所に巡回予防接種の可否を確認した上で診療所を管轄する保健所に巡回診療実施計画書を提出する流れになりますのでご注意ください。



事業部会の活動報告

部会長 小川 純一

平成 24 年度の第 1 回事業部会を 6 月 22 日（金）に東京産業保健推進センター研修室で開催致しました。

東京労働局より大河内健康課長、東京産業保健推進センターの中山副所長、顧問の牧野先生（岐阜大学名誉教授）に出席していただき、以下の議題について協議した。

(1) 職域健康診断有所見者状況調査実施計画及び内容について

調査内容は基礎調査となる「性、年齢別集計分析」（調

査票1)と特別調査の「企業規模別 性、年齢別集計分(調査票2)及び「企業業種別 性、年齢別集計分析」(調査票3)の三種類です。

今回から実施要領及び調査票をフロッピーの郵送ではなく、メールでの発送とした。

また、集計担当者として長濱さつ絵先生(全日本労働福祉協会)が加わった。

この事業も14年目になり、他にない膨大なデータをもとにして解析している調査です。今年は新たに入会された2機関を含め、41機関の会員に調査依頼をお願い致しました。

なお、実施要領を7月18日付けでメール送信し、9月20日を回答締め切り日とした。

(2) 「産業保健フォーラムIN東京」における有所見者調査結果の発表について

今年度も昨年同様に有所見者調査結果の資料を広報部会で作成し、11月21日(水)に「ティアラこうとう」で開催される「産業保健フォーラムIN東京」で配布する。

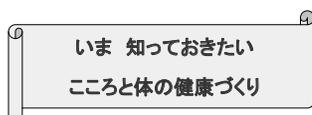
(3) その他

今年度も来年2月に研修会を開催いたします。

特別講演は多くの会員機関の役員に参加していただけるようなテーマで開催したいと考えております。

働く人の職場では全ての職場で「健康の確保」が求められています。今年も「産業保健フォーラム IN TOKYO 2012」が開催されます。当協議会も後援団体として参加いたします。会員の皆様方のご参加をよろしく願います。

本フォーラムの
キャッチコピーは



日時：平成24年11月21日(火)
10:30～16:10(開場10:00)

場所：ティアラこうとう

参加費無料

産業保健フォーラム IN TOKYO 2012 プログラム

◆特別講演

「企業のメンタルヘルスにおける認知行動療法
活用のヒント」

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター

認知行動療法センター センター長

医学博士 大野 裕 氏

主催 東京労働局(公社)東京労働基準協会連合会 東京産業保健推進センター
協賛 東京都(社)東京都医師会(社)東京都歯科医師会 地区労働基準協会
各地域産業保健センター 東京健康保持増進機関連絡協議会 東京都産業保健健康診断機関
連絡協議会 日本作業環境測定協会京葉支部 東京都社会保険労務士会 他関係団体

なお、講師、テーマ等でご希望がありましたら事業部会長までご一報下さい。

広報部会の活動報告

部会長 市川 英一

広報部会は7月11日開催し、第26号会報誌について検討を行いました。トップページは毎年開催されています「産業保健フォーラム」の主催団体として当協議会でも大変お世話になっています。独立行政法人労働者健康福祉機構 東京産業保健推進センター 所長の野中 博先生にお願いしました。また、毎年掲載している「有所見率の調査結果」については岐阜大学牧野名誉教授による調査結果をお願いしました。25号誌では新入会員と賛助会員の該当機関がなく未掲載でしたが、今回は新入会員機関2、賛助会員2の紹介記事を掲載することにしました。11月21日開催予定の産業保健フォーラムの告知記事ですが、特別講演を含め三つの講演が予定されています。今年もたくさんの方に参加していただければ幸いです。行政ニュースについては今国会での審議が継続審議となったため、未稿としました。毎月恒例の事務局はじめ事業部会、広報部会の記事、東京産業保健推進センターの産業医等研修案内を掲載します。なお、会員名簿は中刷として掲載します。

◆事例発表1

「再発防止を目指したメンタルヘルス対策 ～味の素(株)における復職プログラムについて～」

味の素株式会社

人事部健康推進センター

保健師 横尾 亜子 氏

◆講演

「実効性のある身体と心の健康管理を目指して ～より積極的な産業保健スタッフの関わり～」

東京急行電鉄株式会社 東急病院

健康管理センター 保健師 山田 藍 氏

◎リフレッシュ体操

東京健康保持増進機関連絡協議会

◎T H P体験コーナー

運動機能検査、骨密度測定、健康指導、実技体験など

◎東京産業保健推進センターコーナー等

◎東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

定期健康診断有所見率結果・会報誌、パンフ配布

独立行政法人 労働者健康福祉機構



東京産業保健推進センター研修案内(平成24年11月～平成25年1月)

- ◇研修のお申し込みは、FAX以外に当センターのホームページから直接申し込むことができます。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075東京都千代田区三番町6-14日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.sanpo-tokyo.jp/>

◆産業医、保健師・看護師、衛生管理者共通研修◆

産業医(単位なし)・保健師・看護師(実力アップコース単位認定)・人事・労務・衛生管理者

日時	テーマ	講師	単位	定員
12月7日(金) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルス対策における産業医、産業看護職、人事労務担当者との連携について ～連携強化に向けて～ 連携上の困難点と解決策を、グループワークを中心に考えていきます。 (産業医・保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	錦戸 典子	IV -3-(4) (申請中)	40

◆認定産業医研修◆

- ※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。
- ※同じテーマ・講師の研修を複数回受講されても、単位の発行は1回限りとさせていただきます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月6日(火) 14:00～16:00	職場における生活習慣病の予防 生活習慣病の予防は、我が国の公衆衛生の中で極めて重要な位置を占め、特に職場での予防活動が健康寿命の延伸に重要な役割を果たします。ここでは、職場における生活習慣病の予防を一次予防、二次予防、そして、三次予防の観点から現在行われている諸活動の有効性について総合的に考察し、今後の生活習慣病予防のあり方について考えます。	山口 直人	生涯・専門2	70
11月7日(水) 14:00～16:00	メンタルヘルス関係法令・判例・概論 メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介し、「メンタルヘルス指針」、「職場復帰支援」等の行政施策と企業における対策の進め方について解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
11月13日(火) 14:00～16:00	過重労働による健康障害防止対策の進め方～11次防の重点対策～ 増え続ける過労死、過労自殺にどう対処するか。労働者健康福祉機構から出されている過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」を使い、効率的な面接指導の仕方を解説していききたいと思います。	土屋 謙	生涯・専門2	70
11月16日(金) 14:00～16:00	多様化する「診断書上のうつ」とどう向き合うべきか 急速に社会の注目をあつめてきた「新型うつ」「大人の発達障害」に対して健康管理スタッフにできる事は何か。	廣川 進	生涯・専門2	70
11月17日(土) 13:30～16:30	作業環境測定方法～測定機器の操作・測定実習～ 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	岩崎 毅 市川 英一	生涯・実地3	30
11月19日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス対策の進め方～労働安全衛生法等の改正に伴う対策～ 労働者健康福祉機構が作成したテキストを使用します。労働者のメンタルヘルスの現状を把握し、産業医によるメンタルヘルス対策の具体的な進め方について、解説します。	長尾 博司	生涯・更新2	70
11月28日(水) 14:00～16:00	海外勤務者の健康管理 海外の職場では国内とは異なる健康問題が存在するため海外勤務者を抱える企業では、この集団に特化した健康管理体制の構築が求められています。本研修では海外の職場における健康問題とその対策について解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	70
12月5日(水) 14:00～16:00	メンタルヘルス関係法令・判例・概論 メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介し、「メンタルヘルス指針」、「職場復帰支援」等の行政施策と企業における対策の進め方について解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
12月8日(土) 13:30～16:30	作業環境測定方法～測定機器の操作・測定実習～ 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	岩崎 毅 市川 英一	生涯・実地3	30
12月14日(金) 14:00～16:00	職業がんの予防と補償 6価クロム問題、アスベスト問題などに続いて生じた胆管癌問題にも着目し、職業がん問題の実情を理解し、予防と補償について解説します。	石井 義博	生涯・専門2	70
12月20日(木) 14:00～16:00	職場巡視の実際とその活用のポイント～オフィス実習編～ オフィスの職場巡視を行う際のポイントを簡単にわかりやすく解説します。また実際に事務職場での職場巡視を体験して頂き、講義で学んだことをその場で実践することができます。	内田 和彦	生涯・実地2	40
12月21日(金) 13:30～14:45	過重労働による健康障害防止～関係法令・適達～ 過労死などの過重労働による健康障害を防止するため、平成18年4月から長時間労働者に対する面接指導が法制化されました。労働時間の現状など過重労働の現場を一緒に考えてみましょう。	炭山 隆	生涯・更新1	70
12月21日(金) 15:00～17:00	過重労働による健康障害防止～エビデンス・具体的措置事例～ 「過重労働による健康障害防止」は現場の担当者にとって最も重要な課題のひとつです。本講座では関連の法制度の成立時点に遡って関係資料を解説し、具体的措置については過去の裁判事例を参考に検討・考察します。	角田 透	生涯・専門2	70
12月27日(木) 14:00～16:00	相談室から見た現代の若者 教育期間を終了し、初めて就職した若者たちは、様々な試練を経験します。講師はこれまで企業の相談室で、職場に適應できない人たちの対応をしてきました。本セミナーでは、若者対応において「相談」機能が果たす役割、またそこから得られた知見、今後の課題等について解説したいと思います。	長谷川 栄子	生涯・専門2	70
1月8日(火) 14:00～16:00	過重労働による健康障害防止対策の進め方～11次防の重点対策～ 増え続ける過労死、過労自殺にどう対処するか。労働者健康福祉機構から出されている過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」を使い、効率的な面接指導の仕方を解説していききたいと思います。	土屋 謙	生涯・専門2	70
1月9日(水) 14:00～16:00	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地2	50
1月10日(木) 14:00～16:00	有機溶剤の健康影響とその対策 有機溶剤を取り扱う作業者の健康管理を行う上で産業医が知っておくべき関係法令や各種有機溶剤の特徴や健康影響等について解説します。また有機溶剤作業による健康障害を防ぐために必要な作業管理や作業環境管理についても事例を交えて解説します。	内田 和彦	生涯・専門2	70

日時	テーマ	講師	単位	定員
1月16日(水) 14:00～16:00	石綿(アスベスト)による健康障害(電磁波・放射線による健康障害) 石綿の種類や特徴とその主な用途、及び吸入されたときにおこる可能性のある健康障害について概要を説明するとともに、現在の石綿対策の中心である石綿障害予防規則について紹介します。また、非電離放射線から電離放射線まで電磁波全般についてその種類と特徴と、曝露を受けた時におこりえる健康障害の概要を説明し、併せて障害防止のための法令について紹介します。	中館 俊夫	生涯・専門2	70

◆保健師・看護師研修◆ (実力アップコース単位認定)

※産業看護基礎コース・短縮Nコース未修了の方も受講できます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月1日(木) 14:00～16:00	職場における救急体制 職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができます。研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	Ⅲ-6(2) (申請中)	20
11月2日(金) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰支援の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	Ⅳ-3(4) (申請中)	20
11月9日(金) 14:00～16:00	事例を通して考えるメンタルヘルス不調者への対応 メンタルヘルス不調により休業となった労働者への対応についてグループワークを通して考えていきます。 ※H24年8月10日の研修内容と同様です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	V-4(3) (申請中)	20
11月10日(土) 10:00～17:00	メンタルヘルス基礎研修会～職場で自ら実践するために～ 職場におけるメンタルヘルス対策の重要性はますます高まってきています。メンタルヘルス対策には組織体制づくり・予防が欠かせません。現場での個別のケース対応に関わるだけになっていませんか?この研修会では、メンタルヘルスの基礎知識を学び、研修受講後は、職場のメンタルヘルス対策に主体的に参画できるようになることを目指します。 ※H24年8月25日の研修内容と同様です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎美奈子 飯島美世子 松島 尚子 松井 知子 角田 透	V-5(4) (申請中)	30
11月12日(月) 14:00～16:00	生活環境とメンタルヘルス～快適な職場づくりを目指して～ 職場のメンタルヘルス活動を進めるにあたって、働く環境特に快適職場とすることは、雇用者、被雇用者いずれにとっても好ましいことであることは言うまでもないことです。1日の多くの時間を過ごすことが多い職場環境について働く人々のメンタルヘルスとの関連性を説明します。これに基づいて、働く環境を快適にする具体的な活動について提示して、参加者に日常の業務のヒントにいただければと考えています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	Ⅳ-3(4) (申請中)	20
11月20日(火) 14:00～16:00	産業看護の実践～健康診断結果の取扱い～ 健康診断の結果が届いた後の、受診者への結果通知の内容や有所見者への産業医の意見聴取、保健指導、職場への報告書作成などの進め方について、具体的に話し合います。	飯島美世子	V-5(4) (申請中)	30
11月26日(月) 14:00～17:00	労働安全衛生法改正に伴う職場での受動喫煙対策の進め方 労働安全衛生法改正に伴い、職場の受動喫煙対策が義務化されようとしています。改正のポイントと効果的な受動喫煙対策の実践方法などを紹介します。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	齊藤 照代	Ⅳ-4(8) (申請中)	20
12月3日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「事例編」～多様化する「うつ」のケース～ 多様化する現代「うつ」について、社内外の協働の視点から、事例をまじえて学習する事のできる研修会です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎美奈子	Ⅳ-3(4) (申請中)	30
12月10日(月) 14:00～16:30	プリシード・プロシードモデルを用いた健康づくり活動の企画と評価 健康づくり活動の企画から評価までの流れを、プリシード・プロシードモデルについて概要を説明したうえで活動のねらい絞込みから評価案の作成までグループで考えます。	佐々木美奈子	Ⅳ-1(4) (申請中)	30
1月15日(火) 13:30～16:00	産業看護業務の事例検討(参加型研修) 話題提供は、ライオン(株)人事部健康サポート室の瀬戸美才保健師さんです。ライオン(株)では、社内での慢性疾患の診療機能を中止し、予防活動中心の活動にシフトした産業保健活動を展開しています。その始まりは産業看護職の提案だったとの事です。瀬戸さんは、人事部健康サポート室の主任保健師として、事務職の上司のもとで分散する事業所で働く産業看護職をまとめながら活躍されてきました。今回は、本社と事業所に所属するそれぞれの産業看護職の役割などについても触れたいいただき、具体的な産業保健活動のあり方を学びます。	飯島美世子	V-3(2) (申請中)	40
1月18日(金) 14:00～16:00	DVDによるシミュレーションで学ぶ～実践的面接スキル向上トレーニング～ カウンセリングの基本スキルである傾聴力とアセスメント(見立て)力を鍛える実践的な面接スキルの研修です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	V-5(4) (申請中)	30
1月24日(木) 14:00～16:00	医療スタッフのための若者理解 働くことに躊躇いつつある若者にとって、健康管理室の対応は大きな意味を持っています。現代の若者の仕事に対する考え方、期待等は従来のそれと違い、また若者自身が持っている能力やスキルも違ってきています。若者たちの滑らかな就労へのシフトのために、どのような支援が必要であるか、解説したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	長谷川栄子	V-6(4) (申請中)	40
1月25日(金) 14:00～16:00	産業看護職に活用する面談スキル 産業看護職に支援を求めてきた人への面接技術に焦点を当てます。今回は、初回面接を取り上げ相談面接の一部のポイントについて学びます。また、実践に移していく時の具体的方法の特徴について、体験的に学ぶ時間を設けていきたいと思えます。	松島 尚子	V-5(3) (申請中)	40
1月28日(月) 14:00～15:00	女性労働者の妊娠、出産等に関する留意点 男女雇用機会均等法では、事業主に対して、妊娠中および出産後の女性労働者に必要な母性健康管理の措置の実施を義務付けています。産業保健スタッフの皆様は、母性健康管理について知識を深めていただくための研修会です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	東京労働局 雇用均等室 指導官 菱井理加	Ⅲ-7(1) (申請中)	20
1月28日(月) 15:00～16:00	働く女性と母性健康管理 働く女性が妊娠中および出産後において健康で安心して就業できるよう、事業場内における母性健康管理体制を整備することは重要です。産業保健スタッフの皆様は、母性健康管理に必要な知識を得ていただくための研修会です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	落合 和彦	Ⅱ-4(1) (申請中)	20
1月31日(木) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際～基礎編～ 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどの様な規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	Ⅵ-3(3) (申請中)	30

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

事務局連絡先：〒112-0002 東京都文京区小石川1-2-16 小石川TGビル(医社) 同友会

TEL03-3816-2250 FAX03-3818-9277

事務局責任者 渡辺 新吉